【信濃毎日新聞学習シート第585回（6）】

# 1面のコラム「斜面（しゃめん）」を読もう

## 斜面

2024.6.21

夏は夜―と清少納言は枕草子で言い切った。月があればもちろん、闇にホタルが舞うのもまた「をかし」と。夏の夜は魅力的だ。けれど、短い。〈短夜の夢思ひ出すひまもなし〉と夏目漱石。「短夜（みじかよ）」は夏の季語で「たんや」とも読む◆平安の貴族たちもよく詠んでいた。夏の夜が早く明けてしまうのを残念がる恋の歌を。〈みじか夜の残りすくなくふけゆけばかねて物うきあかつきの空〉藤原清正。会える一夜が短すぎて、朝の別れを思ってしまう。はかない時を惜しんで恋情を表した◆現代人も時を惜しむが趣は違う。映像作品は早回しであらすじを知れば良し。流行の曲もサビをまず聞いてから。時間短縮の技術を駆使してつくった時間で結局スマホをいじる。情報量が多すぎて取捨選択が大変なのだ。短夜に心を留める余裕を持つのも難しいほどに、せわしい◆今、人に代わって短夜を惜しむのは水田に集まるカエルたちかもしれない。力いっぱいの大合唱でオスがメスを誘う。「すぐに夜が明けてしまう」と焦っているようにも聞こえる。朝になれば水面に姿はない。前夜の騒ぎがうそのように、静寂が広がる◆きょうは一年で最も昼が長い夏至。長野市の日の出は午前4時29分、日の入りは午後7時9分で、冬至より5時間も昼が長い。これからは夜が伸びてゆく。遅い梅雨入りも間近だ。カエルは喜ぶだろう。〈短夜の明けんとしては雨の音〉正岡子規。巡る季節に動く心はなくさないでいたい。

## 斜面

2024.6.26

街中が選挙ポスターで埋め尽くされたのは、1928（昭和3）年2月の第16回衆院議員選挙だ。掲示場所の規制はなく、塀や鉄橋、電柱は下から上までポスターだらけ。車や船に加え、子どもたちが作った雪だるまも例外でなかった◆納税資格制限が撤廃された初の男子普通選挙だ。有権者は約4倍に増え、同時に小選挙区から中選挙区に。1人の候補者が訴える必要がある有権者数は、従来の12倍以上の約11万人になり、選挙活動の中心は戸別訪問から「言論戦と文書戦」に変わった◆「第一回普選と選挙ポスター」（玉井清著）に詳しい。驚くのはポスターの力強さだ。写真はほぼなくイラストとスローガンだけ。「一票は新日本を築く煉瓦（れんが）なり」「人民に自由を」―。落選した菊池寛は「文芸家にも一席を」と訴えた。普通選挙がもたらした希望がよくわかる◆約100年後、選挙ポスターの掲示板の半分近くが、交流サイトや風俗店の宣伝などで埋められるとは、菊池も想像しなかったろう。東京都知事選に政治団体が24人を出馬させて、1口2万5千円で掲示板1カ所にポスター24枚を貼れると寄付を募った◆ポスターの内容に制限もチェックもない。「性善説」に基づく法の抜け穴をついた。政界から改正を求める声が出ているが考えるべきは選挙が軽く扱われていることだ。有権者の失望は近年の投票率で明白だろう。「落日の掲示板」をもたらしたのは誰なのか。胸に手を当て考えるべきだ。

# 1面のコラム「斜面（しゃめん）」を読もう

ひらがなを漢字になおして書きましょう。

## 斜面

2024.6.21

**夏は夜**―と清少納言は枕草子でいいきった。つきがあればもちろん、やみにホタルがまうのもまた「**をかし**」と。なつのよるはみりょくてきだ。けれど、みじかい。〈**短夜の夢思ひ出すひまもなし**〉と夏目漱石。「短夜（みじかよ）」はなつのきごで「**たんや**」ともよむ◆へいあんのきぞく**たち**も**よく**よんでいた。なつのよるがはやくあけてしまうのをざんねんがるこいのうたを。〈**みじか夜の残りすくなくふけゆけばかねて物うきあかつきの空**〉藤原清正。あえるいちやがみじかすぎて、あさのわかれをおもってしまう。はかないときをおしんでれんじょうをあらわした◆げんだいじんもときをおしむがおもむきはちがう。えいぞうさくひんははやまわしであらすじをしればよし。りゅうこうのきょくもサビをまずきいてから。じかんたんしゅくのぎじゅつをくしして**つくった**じかんでけっきょくスマホをいじる。じょうほうりょうがおおすぎてしゅしゃせんたくがたいへんなのだ。**短夜**にこころをとどめるよゆうをもつのもむずかしいほどに、せわしい◆いま、ひとにかわって**短夜**をおしむのはすいでんにあつまるカエル**たち**かもしれない。ちからいっぱいのだいがっしょうでオスがメスをさそう。「すぐによがあけてしまう」とあせっているようにもきこえる。あさになればすいめんにすがたはない。ぜんやのさわぎがうそのように、せいじゃくがひろがる◆**きょう**はいちねんでもっともひるがながいげし。ながのしのひのではごぜん4じ29ふん、ひのいりはごご7じ9ふんで、とうじより5じかんもひるがながい。これからはよるがのびてゆく。おそいつゆいりもまぢかだ。カエルはよろこぶだろう。〈**短夜の明けんとしては雨の音**〉正岡子規。めぐるきせつにうごくこころはなくさないでいたい。

**太字**や固有名詞などの漢字は原文のままです。

【信濃毎日新聞学習シート第585回（6）】

# コラム「斜面」を読んで考えを深めよう

年　　組　名前

## 斜面

2024.6.26

街中が選挙ポスターで埋め尽くされたのは、1928（昭和3）年2月の第16回衆院議員選挙だ。掲示場所の規制はなく、塀や鉄橋、電柱は下から上までポスターだらけ。車や船に加え、子どもたちが作った雪だるまも例外でなかった◆納税資格制限が撤廃された初の男子普通選挙だ。有権者は約4倍に増え、同時に小選挙区から中選挙区に。1人の候補者が訴える必要がある有権者数は、従来の12倍以上の約11万人になり、選挙活動の中心は戸別訪問から「言論戦と文書戦」に変わった◆「第一回普選と選挙ポスター」（玉井清著）に詳しい。驚くのはポスターの力強さだ。写真はほぼなくイラストとスローガンだけ。「一票は新日本を築く煉瓦なり」「人民に自由を」―。落選した菊池寛は「文芸家にも一席を」と訴えた。普通選挙がもたらした希望がよくわかる◆約100年後、選挙ポスターの掲示板の半分近くが、交流サイトや風俗店の宣伝などで埋められるとは、菊池も想像しなかったろう。東京都知事選に政治団体が24人を出馬させて、1口2万5千円で掲示板1カ所にポスター24枚を貼れると寄付を募った◆ポスターの内容に制限もチェックもない。「性善説」に基づく法の抜け穴をついた。政界から改正を求める声が出ているが考えるべきは選挙が軽く扱われていることだ。有権者の失望は近年の投票率で明白だろう。「落日の掲示板」をもたらしたのは誰なのか。胸に手を当て考えるべきだ。

①「街中が選挙ポスターで埋め尽くされた」とあります。どんな場所に掲示されたのですか。

②コラム「斜面」の筆者が力強さに驚いたのは、どんなポスターですか。第3段落から一文で抜き出しましょう。

③コラム「斜面」を読んで、あなたはどう考えますか。200字程度で書きましょう。

## コラム「斜面」を読んで考えを深めよう

年　　組　　番　名前

### 斜面

2024.6.26

街中が選挙ポスターで埋め尽くされたのは、1928（昭和3）年2月の第16回衆院議員選挙だ。掲示場所の規制はなく、塀や鉄橋、電柱は下から上までポスターだらけ。車や船に加え、子どもたちが作った雪だるまも例外でなかった◆納税資格制限が撤廃された初の男子普通選挙だ。有権者は約4倍に増え、同時に小選挙区から中選挙区に。1人の候補者が訴える必要がある有権者数は、従来の12倍以上の約11万人になり、選挙活動の中心は戸別訪問から「言論戦と文書戦」に変わった◆「第一回普選と選挙ポスター」（玉井清著）に詳しい。驚くのはポスターの力強さだ。写真はほぼなくイラストとスローガンだけ。「一票は新日本を築く煉瓦なり」「人民に自由を」―。落選した菊池寛は「文芸家にも一席を」と訴えた。普通選挙がもたらした希望がよくわかる◆約100年後、選挙ポスターの掲示板の半分近くが、交流サイトや風俗店の宣伝などで埋められるとは、菊池も想像しなかったろう。東京都知事選に政治団体が24人を出馬させて、1口2万5千円で掲示板1カ所にポスター24枚を貼れると寄付を募った◆ポスターの内容に制限もチェックもない。「性善説」に基づく法の抜け穴をついた。政界から改正を求める声が出ているが考えるべきは選挙が軽く扱われていることだ。有権者の失望は近年の投票率で明白だろう。「落日の掲示板」をもたらしたのは誰なのか。胸に手を当て考えるべきだ。

①コラム「斜面」を読んで、筆者が言いたいことを簡潔に書きましょう。

②【意見提示】　「斜面」の内容に対するあなたの意見を書きましょう。

③【展開】　あなたの意見の根拠を三つ書きましょう。

（　　　　）　（　　　　）　（　　　　）

伝えたい順番

【信濃毎日新聞学習シート第585回（6）】

## コラム「斜面」を読んで考えを深めよう

**解答例**

年　　組　名前

### 斜面

2024.6.26

街中が選挙ポスターで埋め尽くされたのは、1928（昭和3）年2月の第16回衆院議員選挙だ。掲示場所の規制はなく、塀や鉄橋、電柱は下から上までポスターだらけ。車や船に加え、子どもたちが作った雪だるまも例外でなかった◆納税資格制限が撤廃された初の男子普通選挙だ。有権者は約4倍に増え、同時に小選挙区から中選挙区に。1人の候補者が訴える必要がある有権者数は、従来の12倍以上の約11万人になり、選挙活動の中心は戸別訪問から「言論戦と文書戦」に変わった◆「第一回普選と選挙ポスター」（玉井清著）に詳しい。驚くのはポスターの力強さだ。写真はほぼなくイラストとスローガンだけ。「一票は新日本を築く煉瓦なり」「人民に自由を」―。落選した菊池寛は「文芸家にも一席を」と訴えた。普通選挙がもたらした希望がよくわかる◆約100年後、選挙ポスターの掲示板の半分近くが、交流サイトや風俗店の宣伝などで埋められるとは、菊池も想像しなかったろう。東京都知事選に政治団体が24人を出馬させて、1口2万5千円で掲示板1カ所にポスター24枚を貼れると寄付を募った◆ポスターの内容に制限もチェックもない。「性善説」に基づく法の抜け穴をついた。政界から改正を求める声が出ているが考えるべきは選挙が軽く扱われていることだ。有権者の失望は近年の投票率で明白だろう。「落日の掲示板」をもたらしたのは誰なのか。胸に手を当て考えるべきだ。

①「街中が選挙ポスターで埋め尽くされた」とあります。どんな場所に掲示されたのですか。

【解答】塀　鉄橋　電柱　車　船　子どもたちが作った雪だるま

②コラム「斜面」の筆者が力強さに驚いたのは、どんなポスターですか。第3段落から一文で抜き出しましょう。

【解答】写真はほぼなくイラストとスローガンだけ。

③コラム「斜面」を読んで、あなたはどう考えますか。200字程度で書きましょう。